

JRC2008

日程表

	日本医学放射線学会	日本放射線技術学会	日本医学物理学会	日本画像医療システム工業会
4月4日(金)	9:00			9:00
	10:00 合同開会式			
				17:30
	18:15 合同会員懇親会			
4月5日(土)	8:00			9:30
				17:30
4月6日(日)	8:00			9:30
	16:00 表彰式・閉会式			

学術発表	特別講演	教育講演
シンポジウム	電子ポスター (CyPos)	口述発表
イメージインタープリテーション	CyberRad	

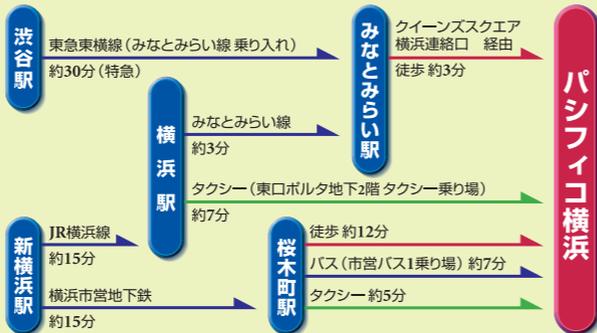
参加登録費	学会 (当日)	会員	学生	非会員
機器展示会	¥12,000 (不課税)	¥1,000	¥19,000 (税込)	
合同会員懇親会	¥3,000 (税込)			無料

会場	日本医学放射線学会総会	日本放射線技術学会総会学術大会	日本医学物理学会学術大会	国際医用画像総合展	CyberRad 2008
	会議センター	会議センター	会議センター	展示ホール	展示ホール

会場へのご案内

パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL. 045-221-2155



JRC 日本ラジオロジー協会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 王子不動産神田ビル7階
TEL. 03-3518-6111 FAX. 03-3518-6139 URL: http://www.j-rc.org

JRC2008

第67回 日本医学放射線学会総会

会長: 松井 修 金沢大学

第64回 日本放射線技術学会総会学術大会

大会長: 真田 茂 金沢大学

第95回 日本医学物理学会学術大会

大会長: 村山秀雄 放射線医学総合研究所

2008 国際医用画像総合展

CyberRad 2008

よりよい放射線医療を求めて
— ナンからテラまでの戦略 —

ごあいさつ

放射線医療関連の学術集会、放射線医療機器展示を共同で行うべく発足したJRC(日本ラジオロジー協会)も、お陰様で20周年を迎えることができました。20歳の成人式を迎えたわけで、これからは一人前の組織としてさらにたくましく成長しなければと思っています。

この20年の間に放射線医療は目覚ましく発展しました。コンピュータ、通信技術の進歩の賜ですが、いまや放射線無くして最先端の医療ができない時代になっています。

癌、心臓、脳の病気のみならず、ほとんど全ての病気の診断から、癌の放射線治療まで、医学の分野では放射線は幅広く利用されています。このJRCによる春の学術集会、医療機器展示(国際医用画像総合展)も国内最大規模のひとつになることができました。しかし、放射線医療が国民に十分理解されている訳ではありません。診療報酬も諸外国より低いですし、放射線医療に伴った放射線被ばくの問題もあります。マンパワーも不十分です。この学術集会でこれらの課題が議論され、放射線医療がさらに国民の幸福に結びつくことを祈念してやみません。

パシフィコ横浜(横浜市)で4月4日(金)から6日(日)までJRC2008にこれまでより多くの方々の参加を期待しています。

これからも皆様の協力を得て、放射線医療が益々発展するようご指導、ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。



JRC代表理事
遠藤 啓吾

遠藤 啓吾



4/4 金
4/6 日

パシフィコ横浜

JRC 日本ラジオロジー協会

第67回日本医学放射線学会を2008年4月4日から4月6日に、例年のごとく横浜で、JRC加盟学会および国際医学画像総合展とともに開催します。画像診断機器・放射線治療装置の開発、これらの適正な運用と安全管理、および臨床現場での放射線診療はまさに三位一体であり、共通の発表や討論の場を持つことは重要です。こうした連携はわが国の放射線医療に大きな貢献をしてきたと思えます。

一方で、ハイテクを駆使した画像機器やその応用、情報処理などが華々しく乱舞するなかで、我々の共通した最終目標である、臨床現場での血の通った医療への視点がややもすると軽視されている感が否めません。放射線医療技術の進歩を血の通った“放射線医療”に還元するという我々の共通でかつ当然の最終目標の再認識を求めて、放射線技術学会とともに、“よりよい放射線医療を求めて—ナノからテラまでの戦略”をテーマに掲げました。具体的には有効で安全な治療に直結する放射線医療を念頭においたプログラムを組みたいと思っています。多数の方々の参加を期待します。



第67回日本医学放射線学会総会
会長 松井 修

松井 修



(社)日本放射線技術学会(JSRT)第64回学術大会は、メインテーマ「よりよい放射線医療を求めて —ナノからテラまでの戦略—」の下に開催されます。このテーマは10⁹から10¹²まで、サイズでも時間でもいずれを想起していただいても良い。たとえば、分子イメージングに関することから医療情報に関することまで、百花繚乱の医療技術の何が今後のよりよい放射線医療の実現に繋がるのか?今大会ではその議論の材料を提供します。

JSRTは日本医学物理学会と共同で2008年1月に英語論文誌を創刊し、研究成果を積極的に世界に発信しようとしています。本大会では、そのような学会活動の国際化の一環として、例年より数多く海外から第一線で活躍中の研究者や技術者を招聘します。専門分科会や個々の会員が、より一層、国際的な学術交流を深める一助になることを期待しています。

また、本大会では特に教育プログラムの充実を図りました。たとえば、教科書著者によるリフレッシュコースや、専門技師や医学物理士などをターゲットとする“資格にチャレンジコース”、さらに「この学会、これだけは聞き逃すな!」と題した各分野のエキスパートによるキーノート講演などを企画しています。

JSRTの新たな展開を実感できるような学術大会を準備しています。2008年4月4～6日、横浜で皆様とお会いできることを楽しみにしております。



第64回日本放射線技術学会総会学術大会
大会長 真田 茂

真田 茂



昨年、国は社会システムの改革と技術革新に取組む長期戦略指針「イノベーション25」を決定しました。この戦略指針で“生涯健康な社会形成”のためにQOLを高める診断・治療機器の研究開発を重点科学技術に指定しています。

今、望まれる医療のイノベーション—安全で安心な医療をすべての人に—に「放射線医学」の進歩が果たす役割は大きく、その実現には放射線科医・放射線技師・画像医療システムメーカーの連携と理解が基盤となります。

ナノ技術を駆使した画像診断機器の高度化、術前・術中・術後の画像活用、そして診断治療情報の統合等による低侵襲かつ安全で早期社会復帰できる医療を目指し、JIRAは医・工連携により積極的に研究開発へ取り組み、最新技術の医療画像システムを提供し続けます。

ITEM2008では最新の医療画像システム、アプリケーション、そして関連機器が展示されます。医師・技師をはじめ医療に従事される多くの皆様に御来場頂き、充実した“人と技術”の出会いがあることを期待しています。3学会と併催されるITEM2008が「よりよい放射線医療」への有意義な場になることを願っています。



(社)日本画像医療システム工業会
会長 猪俣 博

猪俣 博



第95回日本医学物理学会学術大会(JSMP2008)が、2008年4月4日から6日の3日間にわたってパシフィコ横浜会議センターにおいてJRC2008大会の一環として開催されます。

日本医学放射線学会を母体として発展してきた日本医学物理学会(JSMP)は、日本放射線技術学会(JSRT)とも連携を深めています。2008年1月には、JSRTとJSMPが合同して英語論文誌「Radiological Physics and Technology」を創刊することになりました。これは、科学と技術の一体化を目指す新しい取り組みであり、国際的な視点で自ら学術の評価を行うという新たな目標ができたこととなります。そして関連する学術分野が統合する時代を迎えた今日、両学会の密接な連携活動は、医科学技術と医療の進歩に一層の貢献をもたらすと期待されます。

今回の学術大会では、会員皆様の素晴らしい研究発表に期待するとともに、特別講演、教育講演、CyPos、市民公開講座などのJRC合同企画への積極的な参加をお願い致します。また、関連学会との連携の具体的な取り組みとしてJSRTとの合同シンポジウムをはじめとする合同企画が実現しましたので、会員皆様の多数の参加をお待ちしております。



第95回日本医学物理学会学術大会
大会長 村山秀雄

村山 秀雄

